

平成23年産米の市町村別生産数量目標の設定方針

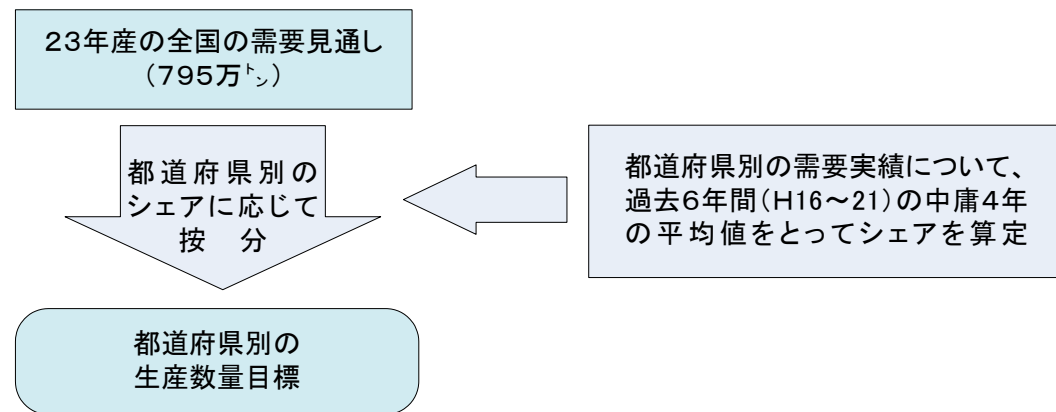
平成22年12月16日
愛知県水田農業構造改革推進会議

1 全国の需要量と本県への情報提供の経過

国は、平成22年11月29日に全国の平成23年産米の需要見通しを前年産から18万トン減の795万トン、面積換算は昨年から4万ヘクタール減の150万ヘクタールとした。

本県に対して、平成22年12月1日付けで、前年産から1,710トン減の142,540トン、面積換算は昨年から340ヘクタール減の28,110ヘクタールの情報を通知した。

23年産米の都道府県別の生産数量目標の算定方法



2 本県の市町村別生産数量目標の設定方針

- (1) 国は、「主食用米の生産量」及び「6月末時点の在庫数量及び政府米の販売量から算出した需要実績」を基に都道府県別の生産数量目標を通知したが、市町村別の在庫数量及び政府米の販売量を示すデータは公表していない。
このため、本県が市町村別の需要量を算定するに当たり、国の算定要素を用いることが困難なため、以下の要素で算定する。

本県においては、生産者団体の合意のもと、

① 地域の水田農業の継続性を確保するための要素

平成22年産米の市町村別生産数量目標 …………… 50%

② 意欲のある農業者の取組を促進するための要素

(ア) 平成22年度の水稲生産実施計画書を提出した

市町村別認定方針参加農業者の生産数量目標 …………… 20%

(イ) 平成22年産の市町村別水稲共済加入面積 …………… 10%

③ 公平性を確保するための要素

平成22年の市町村別田本地面積 …………… 20%

要素の①から③を基に、市町村別生産数量目標を算定する。

- (2) なお、本県の平成23年産米の生産数量目標は、平成22年産米に比べて1,710トン(約1.2%)減少となっているので、市町村の配分に当たって、上限を平成22年産米の生産数量目標とする調整を行うこととする。

- (3) また、本県への需要量には、種子としての生産や学校田における生産といった実数として確保する必要がある数量も含まれていることから、これらについては、市町村へ配分する生産数量目標から予め控除しておき、調整後の当該市町村の数量に加えることとする。

- (4) 上記の(1)から(3)により算定した市町村別の生産数量目標は、当該市町村の10アール当たりの配分基準単収で除した面積換算値と併せて市町村に提供することとする。